



着物で「まち歩き」
人をつないで町を元気に



着物で生まれるコミュニケーション
鑑田祥啓さん
(堀工町)

profile
昭和62年9月、堀工町に生まれる。市内呉服屋の3代目。休日は、ビジネス書や建築関係の本を読むか山登りをして過ごすことが多い。群馬の山々の他、北アルプスも踏破。キャンプでの料理もお手のもの。煮込み料理やスープが得意。



昨年11月に旧秋元別邸周辺を歩いた様子。紅葉と着物姿がマッチしてすてきな雰囲気（写真左）。一面銀世界の白根山。雪山の静けさがたまらない（写真右）

「去年の秋に、歴史の小径や旧秋元別邸周辺を仲間と着物で歩きました。ふだんとは違う発見があり、とても楽しかったですよ」と話すのは、着物を着てまち歩きをすることで、まちを盛り上げようと取り組んでいる鑑田祥啓さんです。鑑田さんは、着物を着る機会が少なくなった今だからこそ、「着物には特別感があるんです。着る人もそれを見る人も日常とは違う特別感を持つことができるんです」と、その魅力を知ってほしいと話します。前回

「自分が仕事をし、暮らしている館林を元気にしたい。少しでも貢献したいんです」その思いが鑑田さんを動かす動機となっていました。来月はさまざまなイベントとコラボすること、すてきな着物姿があちこちで見られそうです。

PHOTO
CANVAS

フォトキャンバス

Events
Close
Up



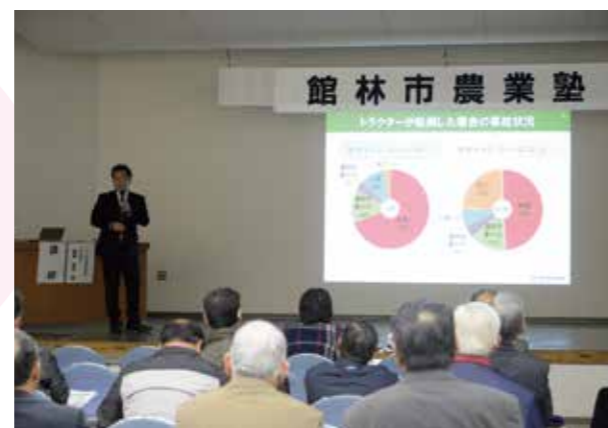
小学校ALTの先生と触れ合いながら
リズムののって楽しく英語のレッスン

英語で遊ぼうが、2月12日、杉並幼稚園で行われました。これは英語に親しんでもらうため、平成28年から幼稚園へ通う年長クラスを対象に年10回開催しているものです。園児たちは小学校ALTの先生の下、英語で歌を歌ったり、絵本を読んだりして、楽しみながら英語を学びました。



安心・安全に農業をするために
農作業時の危険と対策を学ぶ

館林市農業塾が、2月15日、文化会館小ホールで行われました。これは、農作業事故減少のために行われたもので、講師の柳澤和也さんは、農作業時の安全対策や日ごろから行える運動について丁寧に解説。参加者は真剣な表情で講演を聞き入っていました。



想定外の大規模自然災害に備えて
国土強靱化地域計画策定に向けての研修会

館林市国土強靱化地域計画策定に係る研修会が、2月7日、市職員を対象に文化会館小ホールで開催されました。講師の中林一樹さんは、東日本大震災の事例などをもとに、計画策定の意義やポイントを、約1時間30分にわたり講演をしました。



自立した生活の実現を目指し
要介護度改善事業所を表彰

要介護度改善事業所表彰式が、2月6日、市役所で行われました。これは今年度から始まった新たな表彰制度で、要介護度改善について特に効果をあげた事業所を表彰するもの。堀越医院デイケアセンターほたる、医療法人つる舞会さくらクリニック通所リハビリテーション『ユートピア』、岡田整形外科クリニックデイケアわくわくの3事業所を表彰しました。

